

買ってもらえる米づくり'08

育苗編（平成21年3月発行）

土浦地域農業改良普及センター



コシヒカリの田植えは5月5日以降に！

平成20年産の米の品質は概ね良好で平年に比べ粒が大きく良食味でしたが、全国的にも大粒傾向であり、他県に比べ本県の「米粒が小さい」傾向は変わっていません。

2008年の生育調査結果からも(表1)、5月5日以降に田植えしたコシヒカリは、早植えのコシヒカリに比べ大粒になります。育苗段階から計画的に適期移植となるよう心がけましょう。

表1 「コシヒカリ」における移植期の早晚と収量・品質の関係

	播種期	移植期	干粒重 (g/1000粒)	精玄米重 (kg/10a)	1.85mm 篩目上(%)	2.00mm 篩目上(%)
4月下旬移植	4/2	4/24	21.5	584	92.7	63.9
5/5以降の移植	4/12	5/9	22.8	595	96.1	78.4

注) 2008年度管内水稻定点等調査結果より



健苗づくりの管理ポイント

5月5日以降の田植えを目指して、スケジュールを立てましょう！

浸種 (4/6頃)	コシヒカリを浸種する場合、有効積算温度で120℃を目標とし、発芽ムラを避けるため水温は10～15℃としましょう。粉の表面がアメ色となり、透かすと胚が白く見えたら浸種終了です。
播種 (4/19頃)	<p><播種量> 乾籾で150～180g/箱程度。4kgで22～27箱播種が目安。</p> <p><催芽> 28～30℃で行いましょう。温度の高いと籾枯細菌病にかかりやすく、低い場合は障害の原因になります。特に、積み重ねや平置き育苗ではハウスの換気など温度管理に気を配りましょう(表2)。ハウスの温度計は地面から5cm位の苗箱の位置に合わせて設置しましょう。</p> <p><出芽後の管理> 育苗の決め手は、温度管理と水管理です。硬化期前半までは、夜間の温度が10℃を下回らないように、日中は30℃以上の高温にならないように注意しましょう。</p>
移植 (5/5頃～)	育苗仕上げの葉数は、2.2枚、草丈12cmを目標とします。

朝かん水したら、夕方表面が乾くくらいでOK!
水のやりすぎは、根腐れや伸びすぎの原因です！

表2 出芽後の温度管理と水管理

		緑化期	硬化期
温度	日中	25～20℃	25～20℃
	夜間	15～10℃	10℃以上
かん水		覆土の表面が乾いたらかん水	1日に1～2回

土浦地域農業改良普及センター 〒300-0051 土浦市真鍋 5-17-26 (土浦合同庁舎内)
E-mail : tsuchinofu@pref.ibaraki.lg.jp 電話 : 029-822-8517 Fax : 029-824-0918